

幼児期の思考力を育み児童期につなぐ手引きの開発

○杉田美穂¹・小野塚若菜¹#・梅澤京子²#・林舞子³#

(¹ ベネッセ教育総合研究所・² ベネッセ新横浜保育園・³ ベネッセ川崎新町保育園)

1. 問題と目的

- 子どもの発達や学びの連続性の保障のため、**幼児期から児童期の資質・能力の育成**をつなぐカリキュラムの編成や実施が求められている(中央教育審議会,2023)¹。
- 杉田・小野塚(2024)²は、5歳児の遊びの中で発揮を想定できる、小学校の学習指導要領から抽出した19の**思考スキル**(泰山ほか,2014)³について、その発揮を見とり促す保育者の具体的な**環境構成と援助例**を整理した。※「思考スキル」は、右図参照
- 幼児期の遊びを通じた多様な体験が、小学校以降の生活や学習の基盤となる資質・能力の育成に重要であることが、保護者や社会に十分に伝わっていない課題がある(文部科学省,2024)⁴。

思考スキル

多面的にみる
変化をとらえる
順序立てる
比較する
分類する
変換する
関係づける
関連づける
理由づける
見通す
抽象化する
焦点化する
評価する
構造化する
推論する
具体化する
応用する
広げてみる
要約する

多様な視点や観点にたって対象を見る
視点を定めて前後の違いをとらえる
視点に基づいて対象を並び替える
対象の相違点、共通点を見つける
属性に従って複数のものをまとまりに分ける
表現の形式(文・図・絵など)を変える
学習事項同士のつながりを示す
学習事項と実体験・経験のつながりを示す
意見や判断の理由を示す
自らの行為の影響を想定し、適切なものを選択する
事例からきまりや包括的な概念をつくる
重点を定め、注目する対象を決める
視点や観点をもち根拠に基づいて対象への意見もつ
順序や筋道をもとに部分同士を関係づける
根拠にもとづいて先や結果を予想する
学習事項に対応した具体例を示す
既習事項を用いて課題・問題を解決する
物事についての意味やイメージ等を広げる
必要な情報に絞って情報を単純・簡単にする

出典) 泰山裕(2014)「思考力育成を目指した授業設計のための思考スキルの体系化と評価」

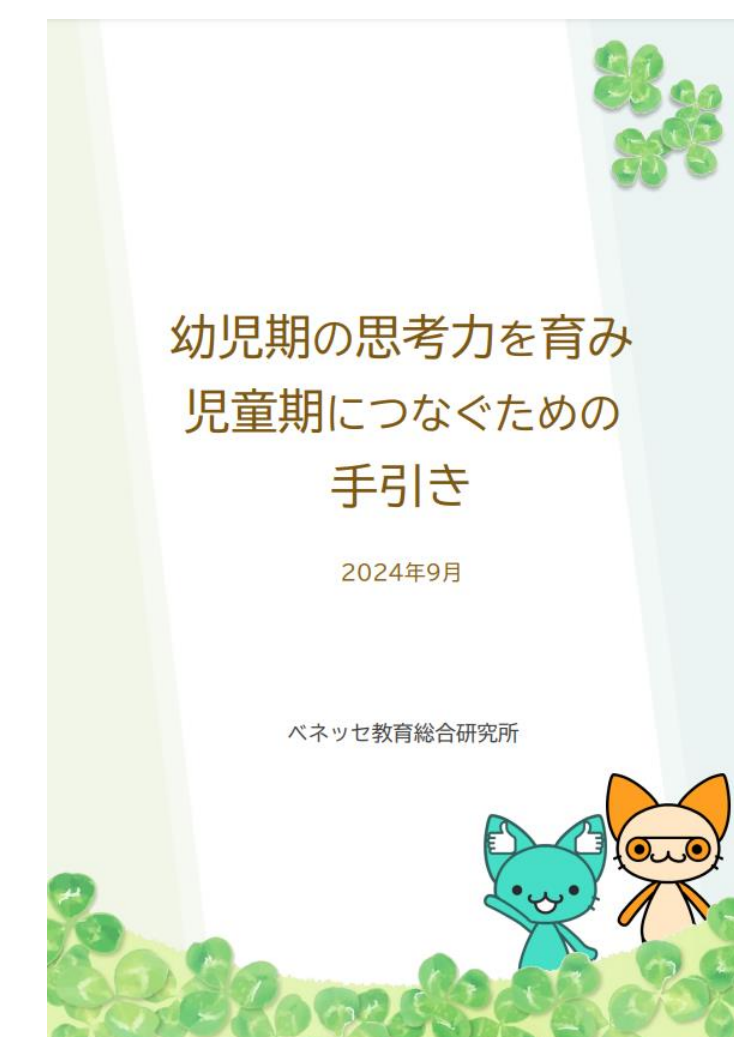
5歳児の思考力を思考スキルの発揮と定義し、遊びの中で思考力をどのように見とり育むかを「幼児期の思考力を育み児童期につなぐための手引き」(以下、手引き)として開発し、有用性を検討する。

保育者や小学校の先生、保護者の
子どもの思考力を育む
援助や指導に活用してほしい！

2. 手引きの概要

- 19の**思考スキル**について、5歳児の遊びに見られる姿と保育における環境構成、援助例、小学校の学習活動例を解説した。
- 幼児期と児童期の両方から同じ枠組みで思考力を捉えることで、幼児期から児童期の学習を見通し、児童期には幼児期の体験を踏まえた指導に活用することを目指した。

幼児期の思考力を育み 児童期につなぐための手引き



冊子のダウンロード



全32ページ

https://benesse.jp/berd/jisedai/research/detail_240930-1.html

3. 方法

- 民間保育所2園において、担任または園長が、**手引き**の内容を参考に4,5歳児を対象にした計5回の保育実践(※)を行った。

※保育計画では活動を通して子どもが発揮する**思考スキル**を想定し、環境の準備を行った。さらに、ふりかえりでは、子どもがどのような思考を働かせているかを見とる観点として**思考スキル**の枠組みを用いた。

- 実践後に保育計画や環境構成・援助を考える有用性や課題について、実践者と発表者が協議しまとめた。

4. 結果と考察

遊びの中で育まれる思考力について、保育者が保護者や小学校の先生と共通に理解し、子どもが思考力を伸ばす環境構成や援助に活用できる可能性が示された。



手引きを使った
保育者の声

- 子どもの思考力が見とりやすくなった
- 保育の価値が可視化されて援助が考えやすくなった
- 保護者とともに子どもの成長を喜ぶ視点になった



手引きを使った
小学校の先生の声

- 幼児期にどのような遊びを通して学んでいるのか分かった
- 幼児期の体験を想定することで、指導案を書く際に子どもの姿をより具体的にイメージできた

4. 今後の課題

- 小学校入学期の指導や授業改善に寄与するために、さらなる実践と検証が必要である。
- 保育者が保護者に伝える枠組みとして、どのように活用できるかの検証が必要である。

【附記】本研究では、学会の倫理綱領に基づき、実践者に研究の目的と内容を十分に説明し、協力の同意を得て進めた。また、分析には個人が特定されない事例を使用し、手引きに使う写真やイラストのオンライン配布や二次利用については、本人または保護者から事前に書面で同意を取得した。

【参考文献】

- 中央教育審議会(2023)「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～」
- 杉田美穂・小野塚若菜(2024)「5歳児の思考力発揮を促す保育者の援助について」日本発達心理学会第35回大会
- 泰山裕ほか(2014)「体系的な情報教育に向けた教科共通の思考スキルの検討：学習指導要領とその解説の分析から」日本教育工学会論文誌日本教育工学会論文誌, 37(4) 375-386.
- 文部科学省(2024)「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会 最終報告」